

中井だよい

中井やまゆり園

新年度を迎えて

園長 菅野 大史

中井やまゆりで5年目の春を迎え、引続き、園長として勤めさせていただくことになりました。この4年間、なかなか良い報告や楽しい話題を提供できておりませんが、皆様方におかれましては、いつも園の運営を温かく見守っていただいておりますこと、あらためてお礼申し上げます。ありがとうございます。

これまでも機会を捉えてご説明させていただいておりますが、当園は、「県立中井やまゆり園当事者目線の支援改革プロジェクトチーム」などから、風通しの悪さや組織マネジメントの不十分さなどの指摘を受けております。

そこで本年度は、新たに、民間施設で実績経験のある3名の「支援改善アドバイザー」を会計年度任用職員（非常勤職員）として配置し、組織マネジメントのありかたや個々の利用者への支援方法などについて助言をいただきながら、園の喫緊の課題である「身体拘束廃止」「地域生活移行の推進」「園内日中活動の見直し」「意思決定支援の推進」「寮再編」等の取組みに、これまで以上に積極的に取り組んでいくこととしました。

特に身体拘束廃止については、そのことだけに目を向けるのではなく、園内の日中活動の見直し（活動時間を長くする）や、園外事業所などの積極的な体験利用（地域生活移行の推進）など、園（寮）外での活動を充実しながら、その取組みを進めてまいります。

また意思決定支援についても、あらためて当事者の目線に立ち、ご本人の心の声に耳を傾け、常に寄り添いながら推進することとし、このことで、利用者の皆さんはもとより、私たち職員も心が輝くような支援を心がけてまいりたいと思っています。

当園は、今年50周年を迎えました。現段階では、中井やまゆり会のご支援を得ながら、記念誌の発行や、10月の中井やまゆり祭での記念イベント等を検討しているところです。さまざまな新たな取組みを始めたこの時期に、さらには、50年という節目の時期に園長として仕事をさせていただいていることに感謝しながら、未来志向で前向きに職務を遂行してまいりたいと思いますので、引続き、よろしく願いいたします。